

太宰府市短歌ポスト第百三十期

入選歌(令和八年五月二十二日)

撰者 竹森 祐彦

咲ききらぬ桜の下に立ち尽くす絵馬にあふるる願ひの強さ

山形県 小野 輝莉

飛梅の花弁舞い散るその先へ門出の春の祈りを運ぶ

埼玉県 早乙女 遥香

入学は第四希望に決まれども道真公の計らいならん

京都府 小笹 要

ひっそりと観世音寺に平安の仏様等の立ち並びたり

太宰府市 安達 奈津

春の日の参道をゆく雉一羽参まうでに來しか観世音寺へ

大野城市 染川 ゆり

旅人らの宴の跡かまほろばに霞かすみたなびく蘆城あしきのうまや駅家

筑紫野市 長瀬 伸二

都府楼の野に寝転んで想像す旅人が見上げしころの春空

大野城市 一岡 渉太

小・中学生の部

梅がさき道真公は人気者昔さみしさ今もわすれず

神奈川県 谷口 麻央